

目指すのは 「地域産業の育成・発展と 地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」

創立当時から大切にしている 地域への変わらぬ想いを込めて
2015年に3つの理念を制定しました。

Mission

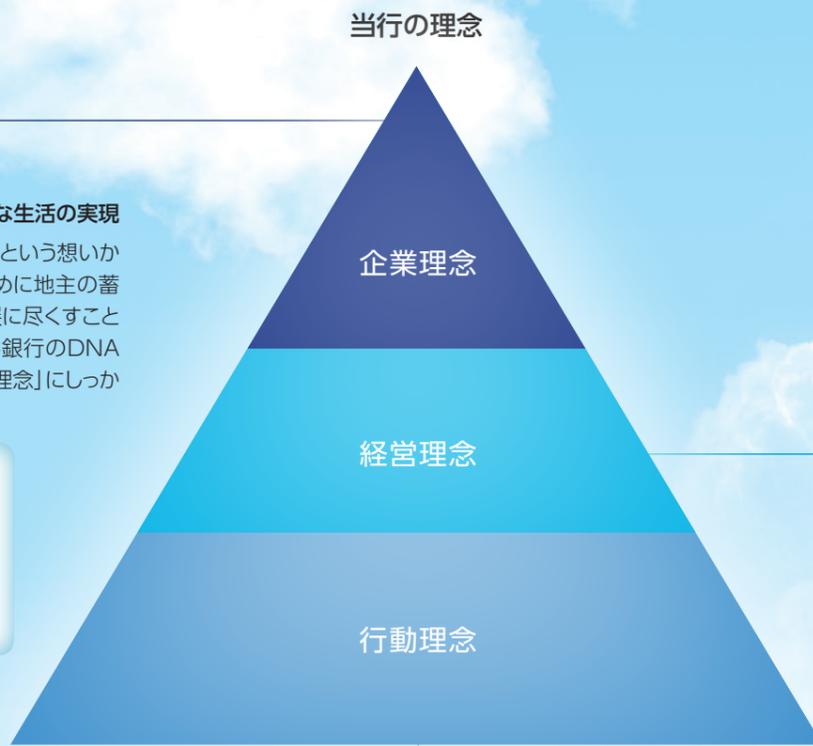
存在意義

地域産業の育成・発展と地域に暮らす人々の豊かな生活の実現

福井銀行は、明治32年「地域産業の助成こそ使命」という想いから、当時盛んになり始めた繊維産業を育成するために地主の蓄積した資本を結集して設立。地元を愛し、その発展に尽くすことを第一義とする無私の精神は、創立当初から福井銀行のDNAに深く刻まれ、120年たった現在も変わらず「企業理念」にしっかりと受け継がれています。

いつも、いつでも、いつまでも。

企業理念を原点とした「地域とともに」という福井銀行の想いを表した企業スローガンです。全職員から公募を行い、1,600を超える作品の中から採用されました。



Action

役職員の日々の行動

誠実 × 情熱 × 行動

「誠実」…相手を大切に思い、
「情熱」…強い信念を持ち、最後まで諦めず、
「行動」…実際の働きで示す

今日の誓^{*1}

- 一 自己を反省して人の悪口を言はざること
- 二 四恩^{*2}を感謝して吾職務に精励すること
- 右 今日一日の務めとして実行を誓ひます

^{*1} 「今日の誓」は創立者・市橋保治郎が禅の思想に基づき提唱したもので、福井銀行職員は、この「今日の誓」を行動のバックボーンとして業務に精励しております。

^{*2} 四恩・・・先祖の恩、国家の恩、社会の恩、神仏の恩

Commitment

経営のコミットメント

トライアングル・バランスの実現

福井銀行グループは豊かな地域社会の実現のために

- 「職員の満足(働きがい)」
 - 「お客さま(地域)のご満足」
 - 「株主の方々(投資家のみなさま)のご満足」
- をバランスよく高める経営を実現します

Contents

- 3 福井銀行のあゆみ
- 5 福井銀行の価値創造プロセス
- 7 中期経営計画
「企業理念」の実現に向けて(第1章)～より早く、より深く、より広く～
- 9 頭取インタビュー
- 13 頭取対談
- 15 財務ハイライト
- 17 非財務ハイライト
- 19 法人のお客さまへ
- 25 個人のお客さまへ
- 27 地域のみなさまへ
- 37 コーポレート・ガバナンス

当行の概要

(2020年3月31日現在)

名 称	株式会社 福井銀行 (The Fukui Bank, Ltd.)		
所 在 地	〒910-8660 福井県福井市順化1丁目1番1号		
電 話	0776-24-2030(代表)		
ホームページ	https://www.fukuibank.co.jp/		
設 立 年 月 日	1899年12月19日		
資 本 金	179億65百万円		
従 業 員 数	1,366名(出向者、嘱託および臨時職員含めず)		
店 舗	有人店舗数/79か店	店舗内店舗数/16か所	
	その他/3か店	合計/98か所	
	※店舗内店舗:他の当行店舗内に併設移転した店舗 ※その他:振込専用支店、ジュラチック王国支店(インターネット支店)、小浜支店名田庄営業室(毎週水曜日(休祝日除く)のみ営業)		
	店舗外自動機設備/125か所	(ATM運営会社・セブン銀行・ローソン銀行との共同設置を除く)	
主 要 勘 定	預金等残高	2兆4,975億円	
	貸出金残高	1兆7,310億円	
	有価証券残高	6,612億円	
株 式 の 状 況	発行済株式総数	24,144千株	株主数 8,392名

編集方針

当行グループは、「地域産業の育成・発展と地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」という企業理念の実現のため、当行を取り巻くステークホルダーの満足をバランス良く高める経営に努めており、ステークホルダーのご満足を得るためには、企業情報の適切かつ公平、正確なディスクロージャーが必須なものであることを認識しております。こうした観点から、国際統合報告評議会(IIRC)が発表した「国際統合報告フレームワーク」を参考にした統合報告書を昨年より作成しております。本報告書を通じ、年次業績と中長期的な地域の発展と企業価値向上に向けた取組みをお伝えし、さらなる対話のきっかけになることを目指しております。

また、本報告書は、銀行法第21条に基づくディスクロージャー資料(業績及び財産の状況に関する説明資料)を兼ねています。ディスクロージャー誌としてご利用の際は、本報告書ならびに「FUKUI BANK REPORT 2020.3 [資料編 (WEB版)]」(当行本支店で縦覧及び当行ホームページ<https://www.fukuibank.co.jp/>に掲載)をあわせてご覧ください。

報告対象期間・範囲

報告対象期間は、2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)です。ただし、必要に応じて当期間の前後についても言及しています。データの集計範囲は、株式会社福井銀行およびグループ会社です。

見直しに関する注記

本報告書には、将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比が異なる可能性があることにご留意ください。